

北見市における景気動向調査報告書

< 第 III 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成21年1月20日

(2) 調査対象期間 平成20年10月～12月期実績および平成21年1月～3月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	24社	80.0%
建設業	30社	29社	96.7%
卸売業	30社	25社	83.3%
小売業	35社	25社	71.4%
サービス業	25社	17社	68.0%
合計	150社	120社	80.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II . 概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成20年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」15.0、「悪化企業」65.0、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△50.0となっています。このD・I値を前年同期比と比較してみると、前年同期比△38.5→今回△50.0と11.5ポイントの大幅な悪化となっています。また、前期比<20年度第Ⅱ四半期>との比較では、前期△39.6→今回△50.0と10.4ポイントの大幅な悪化で、2期連続で好転の兆しを見せつつあったものの再び悪化傾向を示しました。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△50.0、建設業D・I値△51.7、卸売業D・I値△24.0、小売業D・I値△52.0、サービス業D・I値△82.3となっており、前年同期調査と比較すると卸売業が10.6ポイント好転傾向が見られたものの、サービス業26.7ポイント、小売業17.2ポイント、製造業15.2ポイント、建設業14.6ポイントと卸売業以外の業種が10ポイント以上の大幅な悪化傾向を示しています。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」4.2%「悪化企業」70.6%でD・I値△66.4と、前年同期(△47.8)と比べ18.6ポイント悪化、前期調査との比較でも8.1ポイント悪化し、7期連続の悪化傾向で△60ポイントを超える高い数値を示し、先の見えない大変厳しい来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」16.7%、「減少企業」45.8%、D・I値△29.1と前年同期に比べ14.5ポイント好転、前期調査との比較でも10.9ポイント好転しており、3期連続で好転傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」66.7%、D・I値△54.2と前年同期に比べ19.3ポイントの大幅な悪化、前期調査との比較でも14.2ポイント悪化、生産高は好転しているものの、採算面が厳しいことが伺える結果となっています。

来期見通し

業況D・I値△54.2、生産高D・I値△37.4、資金繰りD・I値△58.3と、前年同期に比べ業況・生産高は好転傾向を示したものの、資金繰りD・I値は悪化傾向を示しています。前期調査との比較でも生産高D・I値は好転傾向を示しているものの、資金繰りD・I値は10.4ポイント悪化を示しており、生産高D・I値以外は3期連続で悪化傾向を示しています。

2) 建設業

完成工事高

前年比で「増加企業」10.3%、「減少企業」82.8%、D・I値△72.5と前年同期に比べ35.4ポイントの大幅な悪化を示し、前期調査との比較でも8.3ポイント悪化し数値も高く、3期連続で悪化傾向を示しています。

採算

前年比で「好転企業」10.3%、「悪化企業」82.8% D・I値△72.5と前年同期に比べ39.1ポイントの大幅な悪化を示しており、数値も高く、大変厳しい経営環境を示しています。

来期見通し

業況D・I値△72.4、完成工事高D・I値△69.1、資金繰りD・I値△55.2と前年同期に比べ全てのD・I値が悪化傾向を示し、特に完成工事高は17.2ポイントと大幅な悪化傾向を示しました。前期調査との比較でも全てのD・I値が悪化傾向を示し、数値も高く、前期若干回復の見通しが見られたものの再び厳しい来期見通しとなっています。

3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」20.0%「減少企業」36.0%、D・I値△16.0と前年同期に比べ10.9ポイントと好転傾向を示しています。前期調査との比較では0.7ポイントと若干悪化傾向を示しましたが、3期連続でほぼ横ばいの傾向を示しています。

採算

前年比で「好転企業」12.0%、「悪化企業」48.0%、D・I値△36.0と前年同期に比べ12.9ポイントの悪化傾向を示しています。前期調査との比較でも9.1ポイントの悪化傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△60.0、売上高D・I値△60.0、資金繰りD・I値△36.0と前年同期に比べ全てのD・I値が悪化傾向を示し、特に売上高48.4ポイント、業況が25.4ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。前期調査との比較でも全て悪化、特に売上高D・I値は25.3ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。全体を通し2期連続の悪化傾向を示し、厳しい来期見通しとなっています。

4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」16.0%「減少企業」64.0%、D・I値△48.0と前年同期と比べて21.9ポイントと大幅な悪化傾向を示しています。前期調査との比較でも19.4ポイントの悪化となり、前期好転傾向を示したものの再び悪化傾向を示しています。

採算

前年比で「好転企業」12.0%「悪化企業」68.0%、D・I値△56.0と前年同期と比べて25.6ポイントの大幅

な悪化傾向を示しております。前期調査との比較でも13.1ポイントの悪化傾向を示し、売上高同様採算面でも悪化傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△79.2、売上高D・I値△79.2、資金繰りD・I値△62.5と、前年同期と比べ全てのD・I値が49～61ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。前期調査との比較でも全てのD・I値が悪化傾向を示しており、全体を通して4期連続で悪化傾向を示し、先の見えない大変厳しい来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」5.9%、「減少企業」88.2%、D・I値△82.3と前年同期と比べ26.8ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。前期調査との比較でも57.3ポイントの大幅な悪化傾向を示し、2期好転傾向にあったものの、再び悪化傾向を示しています。

採算

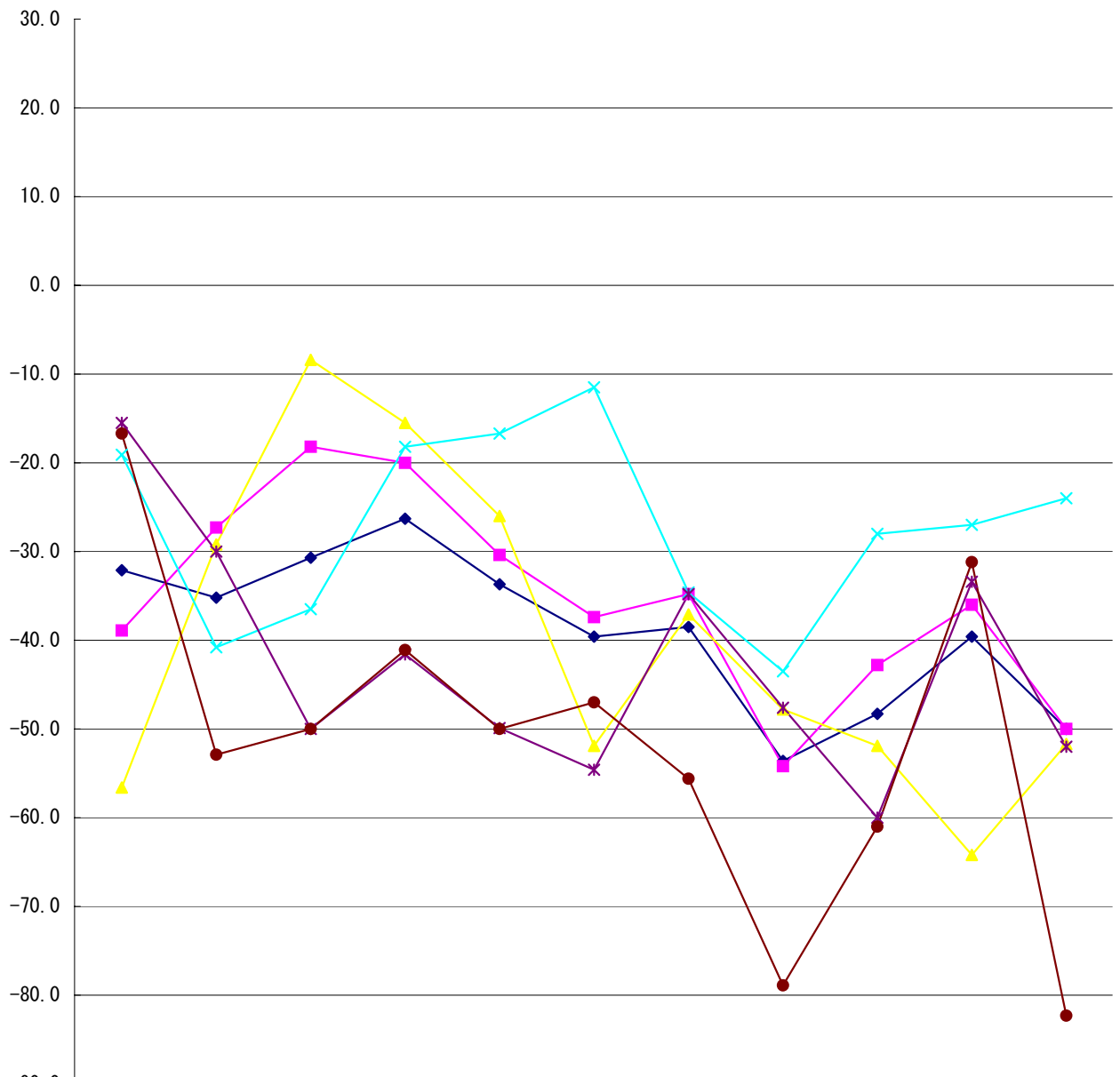
前年比で「好転企業」5.9%、「悪化企業」88.2%、D・I値△82.3と前年同期と比べ10.1ポイントの悪化、前期調査との比較でも51.0ポイントと大幅な悪化を示しており、数値も大変高く依然として大変厳しい経営環境を示しています。

来期見通し

業況D・I値△64.7、売上高D・I値△58.8、資金繰りD・I値△49.9と前年同期と比べ、売上高D・I値は好転傾向を示したものの他のD・I値は悪化傾向を示し、前期調査との比較でも全てのD・I値が悪化、特に資金繰りD・I値は24.9ポイントの大幅な悪化傾向を示し、前期回復の見通しを示しつつあったものの、再び厳しい来期見通しとなっています。

業況（前年同期比）

◆ 全業種 ■ 製造業 ▲ 建設業 ✕ 卸売業 * 小売業 ● サービス業



	18.4~6 18年度Ⅰ	18.7~9 18年度Ⅱ	18.10~12 18年度Ⅲ	19.1~3 18年度Ⅳ	19.4~6 19年度Ⅰ	19.7~9 19年度Ⅱ	19.10~12 19年度Ⅲ	20.1~3 19年度Ⅳ	20.4~6 20年度Ⅰ	20.7~9 20年度Ⅱ	20.10~12 20年度Ⅲ
◆ 全業種	-32.1	-35.2	-30.7	-26.3	-33.7	-39.6	-38.5	-53.6	-48.3	-39.6	-50.0
■ 製造業	-38.9	-27.3	-18.2	-20.0	-30.4	-37.4	-34.8	-54.2	-42.8	-36.0	-50.0
▲ 建設業	-56.6	-29.2	-8.4	-15.5	-26.0	-51.9	-37.1	-47.8	-51.9	-64.2	-51.7
✕ 卸売業	-19.1	-40.8	-36.5	-18.2	-16.7	-11.5	-34.6	-43.5	-28.0	-27.0	-24.0
* 小売業	-15.5	-30.0	-50.0	-41.6	-49.9	-54.6	-34.8	-47.6	-60.0	-33.4	-52.0
● サービス業	-16.7	-52.9	-50.0	-41.1	-50.0	-47.0	-55.6	-78.9	-61.0	-31.2	-82.3

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	同業者間の競合	得 意 先 減 少	人 件 費 増	売 掛 金 回 収 難
建 設 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	そ の 他	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売 掛 金 回 収 難
サービス業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	資 金 調 達 困 難	人 件 費 増
合 計	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	売 掛 金 回 収 難

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

前年同期と比較すると、全体の順位は「得意先減少」が増加し、次に「同業者間の競合」と逆転した。業種別でも、建設業、卸売業、サービス業が「得意先減少」が1位となり、卸売業では「諸経費増」が若干減少している。その他今期の特徴は、卸売業の「その他」は在庫過多問題があげられていること、その他、製造業・小売業及び全体で「売掛金回収難」が5位、サービス業では4位に「資金調達困難」が出てくる等、資金関連問題が出てきていることが伺える。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

(製造) ○オーダーの減少 (木材)

○原材料の上昇 (印刷)

(建設) ○公共事業の減少 (特定土木)

○売上減 (板金)

○採算がとれない仕事しかなく、資金繰り懸念 (板金)

○材料高 (建築)

(卸売) ○公共事業中止・延期による経済環境悪化の影響大 (鉄鋼)

○売上減少、不況により見通しがたたない (作業服)

○人件費減 (作業洋品) 1

○販売不振不安。消費者マインドの低下。(車部品)

○粗利益率の低下 (肥料)

○仕入れ価格の上昇により販売価格に若干転嫁できても需要低下の懸念がある。(肥料)